

3-2 公共施設等の見直し及び適切な維持管理の推進

必要なものは「新しくつくる」という従来の考えから、既存ストックを「賢く使う」へと価値観の転換を図り、財政負担の軽減と安全性や利便性の維持の両立を図るもの

価値観の転換

新しくつくる



賢く使う

施設の複合化・集約化

スポーツ・文化・交流複合施設建設事業

【予算額】 1,488,156千円

※債務負担行為（H31）限度額 24,678千円
完成予想図

体育文化センター及び総合体育館跡地に、スポーツ・文化・交流を促進するための機能を備えた複合施設を整備



豊かな響きを創り出す設備と快適性の高い座席を持つホール
各種公式大会が可能なアリーナ等

図書館等複合施設建設事業

【予算額】 352,400千円

※債務負担行為（H31）限度額 130,255千円

旧三条小学校敷地の活用として、図書館、鍛冶ミュージアム、理科教育センターの機能を有した複合施設の整備に向けた検討、校舎の解体等

図書館機能 理科教育センター機能



鍛冶ミュージアム機能

多様なニーズへの対応

かわまち交流拠点施設の活用

【予算額】 40,640千円

河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域「ミズベリング三条」を最大限に活用するため、親しみやすい開放的な水辺空間を整備するとともに、交流イベントなどを実施

